

TS-T736

INPUT 180W MAX.
EQUIVALENT TO 4 Ω

カーステレオ用埋込型スピーカー
65 mmチューンアップトゥイーター

取扱説明書

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。
尚、車種、年式、グレードによって取付情報を確認する必要がありますので、適合車種の詳細については、販売店様にご相談ください。

- ・本スピーカー取付後、取外した車両部品を逆の手順で取付けてください。
- ※この取扱説明書は、平成30年5月現在の調査情報に基づいています。車種によっては、それ以降に車両の追加や変更が行われる場合があります、その際、取付けの仕方が変わっている場合があります。
- ※インラインネットワークは防水仕様になっていませんので水のかからない場所に設置してください。
- ※スピーカーを取付ける際、適合上は取付可能であっても、車両の個体差により取付けた商品が車両側に干渉する場合があります。その場合は、別途内張り（グリル部の裏側など）の加工を行ってください。
- ※車種によっては商品の取付後、内張りなどにビリ音が発生する場合があります。その場合は別途ビリ止め対策を行ってください。
- ※ハイレゾ品質での音楽再生をより確かなものとするためには、プレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

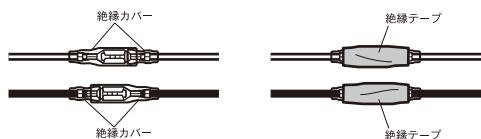
HiRes Audio 当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

●付属品

- ① φ5 mm×16 mm (トラス頭) ×4
- ② 変換コネクタ (白色カバー) ×2
- ③ 変換コネクタ (黒色カバー) ×2
- ④ 延長コード ×2
- ⑤ 遮音パッキン ×1
- ⑥ ロックタイ ×4
- ⑦ 極性変換コード ×2

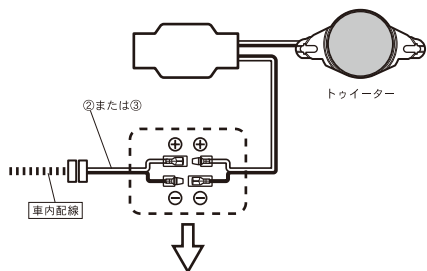
●接続方法

注意 接続部の端子が絶縁カバーで覆われていることを確認し、カバーが外れないようテープなどを巻いて固定してください。
端子が車両の金属部に接触すると、火災や故障の原因となります。

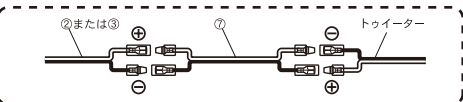


・配線図

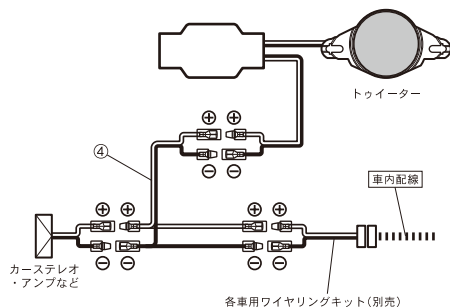
1. トゥイーター接続



※車種によっては極性変換コード⑦を使用します。極性変換コード⑦を使用する車種は一覧表をご参照ください。



2. トゥイーター延長コード使用の接続



※しっかり接続しているか確認してください。

●配線のご注意とお願い

スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性 (+、-) を間違えて配線しますと、低音感の乏しい音になります。

●取付手順

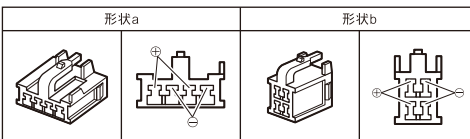
1. 純正トゥイーターを取外します。
・純正グリル、トゥイーター取付ネジ、コネクタの順に外します。
・取外し方法が不明な場合は販売店様にご相談ください。

2. トゥイーターのコードに変換コネクタを接続し、車両コネクタと接続後、配線処理を行います。
・トヨタ車およびスバル車は変換コネクタ②を使用します。マツダ車は変換コネクタ③を使用して車両コネクタに接続します。
※下記一覧の車種は極性変換コード⑦をトゥイーターと変換コネクタの間に接続します。接続方法は「・配線図」をご参照ください。

(極性変換コード⑦の使用車種一覧) (平成30年5月現在)

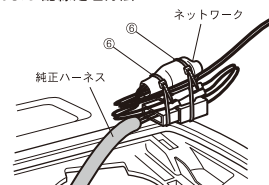
メーカー	車種	年式
トヨタ	SAI	H21/12~H25/8
	SAI	H25/8~H30/2
	アルファード	H20/5~H27/1
	ヴェルファイア	H20/5~H27/1
	カムリ	H18/1~H23/9
	マークX	H21/10~現在
	プリウス	H21/5~H27/12
	プリウスPHV	H24/1~H29/2
	プリウスα	H26/11~現在
	プリウスα	H23/5~H26/11
	スバル	WRX STI
WRX STI	H26/8~H29/6	
WRX S4	H29/8~現在	
WRX S4	H26/8~H29/8	
XV	H29/5~現在	
XV	H24/10~H29/5	
インプレッサ (スポーツ/G4)	H28/10~現在	
インプレッサ 5HB (スポーツ)	H23/12~H28/10	
インプレッサ 4セダン (G4)	H23/12~H28/10	
フォレスター	H24/11~現在	
レヴォーグ	H26/6~現在	
レガシィ B4	H26/10~現在	
レガシィ B4	H21/5~H29/10	
レガシィアウトバック	H26/10~現在	
レガシィワゴン/アウトバック	H21/5~H26/10	

・車両のコネクタ形状が付属の変換コネクタに適合しない場合、以下の配線処理が必要になります。
延長コード④を使用して本製品のトゥイーターとメインユニットを直接接続いただくか、純正配線を加工して本製品のトゥイーターと接続してください。
※純正トゥイーターを外すとドアスピーカー部に音声信号が流れない場合があります。純正トゥイーター用コネクタをバイパスさせる配線加工が必要となりますので、下図を参考にプラス同士/マイナス同士を導通させる配線加工を行ってください。



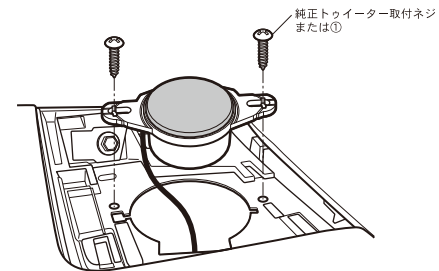
・ネットワークの固定方法および配線処理方法

ネットワークやコードの余長はロックタイ⑥で車両の純正ハーネスなどに固定してください。その際、車の可動部分に接触しない場所に設置してください。ネットワークは防水仕様になっておりませんので水のかからない場所に設置してください。

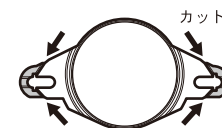


3. トゥイーターを取付けます。

・純正トゥイーター取付ネジまたは、付属のネジ①でトゥイーターを固定します。



車種によってはブラケット部の取付ネジ用穴の先端部が車両に干渉する場合がありますので、その際はブラケット部の溝に沿ってニッパーでカットしてください。

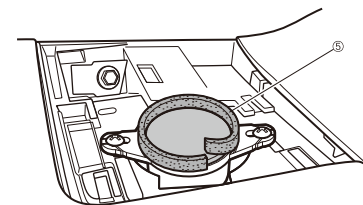


※カットした部分でケガをしないようご注意ください。

純正トゥイーターなし車で取付ネジ固定用のスピードナットが装着されていない車種の場合は、別途スピードナットを用意する必要があります。

4. 遮音パッキンを貼ります。

・トゥイーター天面の外周に沿って遮音パッキン⑤を貼ります。



5. 純正グリルを元に戻します。

※C-HR (H28/12~現在)のみ、純正グリルカバー裏の円形リブ、爪フックがトゥイーターのメッシュに干渉するため、円形リブと爪フックをカット (約13 mm) して元に戻してください。

純正トゥイーター取外し手順

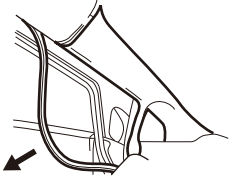
トヨタ プリウス (H27/12～現在) / プリウス PHV (H29/2～現在) / プリウス α (H26/11～現在)
 プリウス (H21/5～H27/12) / プリウス PHV (H24/1～H29/2) / プリウス α (H23/5～H26/11)
 C-HR (H28/12～現在)

警告 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

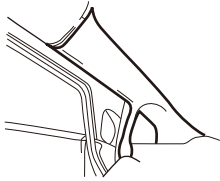
強制 本製品を取付ける際に純正ダッシュスピーカーを外すと、フロントドアスピーカーには信号が流れません。従って、純正ダッシュスピーカーを使用しない場合には、純正ダッシュスピーカー用配線の4Pコネクター部に付属のジャンパーコネクターを接続する必要があります。その際は、エアバッグが装着されているAピラートリム部分の取外し、取付けが必要になります。Aピラートリムの装着にはエアバッグ作動時の飛散防止のため、特殊なクリップが使用されています。このため、Aピラートリムの取外し、取付けには専門知識が必要ですので、取付業者またはカーディーラーなどでの作業が必要となります。

取外し手順(図は助手席側の説明です。運転席側は対称になります。)

■ウェザーストリップを外します。

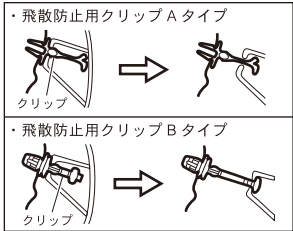


■Aピラートリムを外します。
 トリムのクリップ類の勘合を外し、飛散防止用クリップがトリムに引っかかった状態にします。



注意 作業中に取外したパーツのとがった部分や車両鉄板のバリなどでケガをしないよう十分にご注意ください。手袋の装着を推奨します。

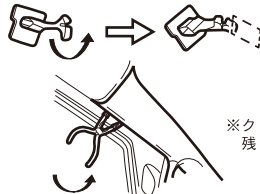
※車種により装着されている飛散防止用クリップが異なります。



注意 作業時は内蔵されているエアバッグを傷つけないようご注意ください。また、工具類を使用して取外しを行う場合は、先端が鋭利なものは使用しないでください。

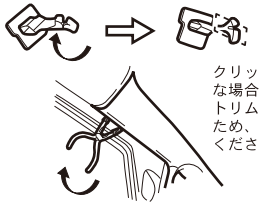
○飛散防止用クリップの取外し(取付け)方法

・Aタイプの場合
 <取外し>
 保護テープを巻いたラジオペンチを使用してクリップを90°回し、トリムの角穴から抜きます。



※クリップは車両側に残ります。

<取付け>
 クリップを元に戻す場合は取外しと逆の手順で、トリムの角穴にクリップの先端部を通し、保護テープを巻いたラジオペンチを使用して、クリップの取外し時と逆の方向に90°回します。

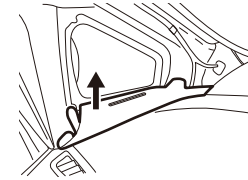


クリップの回転が不十分な場合はトリム装着時にトリムの浮きが発生するため、確実に回転させてください。

飛散防止用クリップ取外し後、トリム根元のフックを外し、Aピラーからトリムを取外します。

■インパネサイド・ガーニッシュを外します。

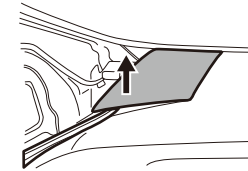
ガーニッシュを上方に外します。



プリウス (H21/5～H27/12)
 プリウス PHV (H24/1～H29/2)
 プリウス α (H26/11～現在)
 プリウス α (H23/5～H26/11)
 のみインパネサイド・ガーニッシュを外します。

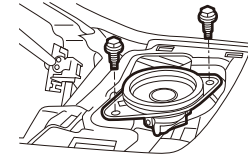
■トゥイーターグリルを外します。

グリルの手前側から上方にこじってツメを外し、前方側のフックを外します。



■純正トゥイーターを外します。

取付ネジ2本を外し、コネクターを取外します。



※取付ネジやスピードナットを落とさないようご注意ください。

強制 パーツ(クリップなど)の破損、紛失時は新品に交換してください。

●アフターサービスについて

1.保証書について

ご購入時には保証書にお買い求めの販売店様の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめのうえ、(車検証入れなどに入れて)大切に保管してください。保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときには保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください。カーオーディオの保証期間はご購入日より1年間となっております。なお、当社はこのカーオーディオの補修用性能部品を製造打切後、最低6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

2.アフターサービスについて

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。ご購入後の商品の修理・お取扱い(取付け・組合せなど)のご相談は、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。お買い求めの販売店様に修理のご依頼ができない場合は、修理受付窓口にご相談ください。保証期間経過後の修理につきましては、お買い求めの販売店様または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品につきましては、ご希望により有料で修理いたします。なお、本製品は持込み商品のため出張修理は承っておりません。引取り修理サービスをご利用ください。(お車から取外していただいた状態での引取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)弊社修理拠点へのお持込みは、商品をお車から取外した状態での引取りとなります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、および脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店様、または取付店様にご相談ください。

修理についてのご相談窓口	商品についてのご相談窓口
修理受付窓口 <受付時間> 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く) ■電話 【固定電話から】 0120-5-81028 (無料) 【携帯電話・PHSから】 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料) 上記の電話番号がご利用いただけない場合 050-3820-7560 (IP電話・有料) 0120-5-81029 (無料) ■ファックス https://jp.pioneer.jp/support/purpose/repair/ ■インターネットホームページ ※インターネットによる修理のお申込みを 受け付けております。	カスタマーサポートセンター <受付時間> 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く) ■電話 《カーオーディオ/カーナビゲーション商品》 【固定電話から】 0120-944-111 (無料) 【携帯電話・PHSから】 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料) 上記の電話番号がご利用いただけない場合 050-3820-7540 (IP電話・有料) ■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料) ■インターネットホームページ https://jp.pioneer.jp/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

<各窓口へお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご利用できません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので、発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

平成30年10月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

お客様登録のお願い

商品をご購入いただいたお客様には、お客様登録・商品登録をお願いしております。パソコンやスマートフォンからインターネットにアクセスいただき、パイオニアホームページ「オーナーズリンク」にてご登録手続きをお願いいたします。
 <https://car-users.pioneer.jp/>

注意 飛散防止用のクリップは取付手順を参考に確実に復元させていただきます。クリップやトリムが正しく復元されていない場合は、エアバッグ展開時にトリムが外れてケガをする恐れがあります。

注意 作業時はクリップやその他車両のパーツを傷つけないようご注意ください。

強制 飛散防止用クリップにダメージがある場合や破損した場合は必ず新品に交換してください。

carrozzeria
 © PIONEER CORPORATION 2018